

わかると快感!

Z会ナビ

算数 理科 歴史 地理

お題

奈良時代の政治は どのようなものだったのか?

(大学入試センター試験 2013年 日本史B)

「Z会ナビ」が

Webサイト

でも読めます!



Z会おとナビ新聞

検索

これまでの内容も掲載しています!

奈良時代の政変について述べた次の文Ⅰ～Ⅲを、古いものから年代順に正しく並べなさい。

- Ⅰ 橘奈良麻呂らが藤原仲麻呂を倒そうとしたが、事前に発覚して失敗した。
- Ⅱ 玄昉と吉備真備を政府から追い出そうと、藤原広嗣が大宰府で反乱を起こしたが、鎮圧された。
- Ⅲ 左大臣長屋王が、天皇に逆らおうとしたという疑いをかけられ、自殺に追い込まれた。

今回の問題の舞台は奈良時代。現在の奈良県に都が置かれていた8世紀ごろのお話です。東大寺の大仏をイメージする人も多いかと思いますが、問題の選択肢には物騒な話ばかり載っていますね。一体どのような時代だったのでしょうか。

奈良時代には激しい政権交代があった!

奈良時代には、お隣の大国、唐(現在の中国)の政治制度や文化を取り入れて、天皇を中心とする国づくりが行われました。

そうした、奈良の国づくりに大きく貢献したのが、藤原不比等です。不比等の功績により、藤原氏は政府内での優位な立場を築きました。

しかし、不比等の死後、政権を担ったのは天皇の血筋をひく、皇族の長屋王でした。不比等には藤原宇合ら4人の息子がおり、彼らは長屋王が天皇に逆らおうとしたとして、長屋王を自殺に追い込みます。しかし、彼らは疫病にかか



イラスト・瑞木匠

しまいます。

その仲麻呂も皇太后の死去により力を失い、孝謙太上天皇に支えられた僧の道鏡に敗北します。その道鏡もまた、天皇の死後に力を失ってしまいました。この後、国を立て直しが行われ、桓武天皇が現在の京都府に都を遷し、平安時代が始まります。

権力が集中したことが激しい政争の原因に

このように、奈良時代には政権担当者の交代や反乱がかなり頻繁に起きていました。国づくりにより、天皇の力が絶大なものとなったため、天皇の信頼を得た人に権力が集中することになったのです。平安時代に絶大な権力を握ることになる藤原氏が、奈良時代にすでに政争に絡んできているところもポイントですね。

ちなみに、Z会のセンター試験対策用書籍でもほぼ同様の問題を出していました。Z会も、大学入試センターも、重要であると判断したこの問題。奈良時代には激しい政争があったことを押さえておきましょう。【Z会・河原井彩】

激動の時代

り、4人とも亡くなってしまいました。

4人の死後、聖武天皇の下で、皇族出身の橘諸兄が、唐への留学経験がある玄昉・吉備真備とともに政治を行いました。宇合の子にあたる藤原広嗣は、諸兄らの政治に不満で反乱を起しますが、まもなく鎮圧されてしまいました。

聖武天皇の死後、橘諸兄は支えを失い、逆に聖武天皇の後である光明皇太后に支えられた藤原仲麻呂が政権を握りました。諸兄の子である橘奈良麻呂は反乱を企てますが、失敗して

! 今回の教訓

国のしくみが整えられた奈良時代には、一方で激しい政権交代・反乱も起きていました。



河原井彩さん 2007年にZ会入社。大学受験用の日本史、政治・経済の教材編集を経て、現在は小中学生向けデジタル通信教育「デジタルZ」を担当。新潟県生まれの埼玉県育ち。